

大原中だより

さいたま市立大原中学校
TEL 048-831-5397
FAX 048-835-1357
第8号

校訓 「歴史を拓く」

学校教育目標 はつらつとした生徒、地域に輝く学校 令和 3年11月 1日 (月)

メールアドレス: ohara-j@saitama-city.ed.jp ホームページ: http://ohara-j.saitama-city.ed.jp/

『陰徳を積む』

校長 小熊 誠

寒くなってきました。今の日本には、春と秋は、ほんの一瞬しか無くなってしまったかもしれません。保護者・地域の皆様におかれましてもどうぞお体には十分御留意ください。

さて、いよいよ校庭の全面改修が本格化し始めました。体育も部活も、そして駅伝の練習もスポーツ広場での活動が中心となっています。交通安全に十分注意しながら、一日に何度も学校とスポーツ広場を往復しています。そんな厳しい状況の中、10月26日には、2年ぶりに、市の駅伝大会が実施されました。大原駅伝チーム30名、魂の走りを魅せてくれました。1分の中に何チームもいる大接戦の中、チーム力で

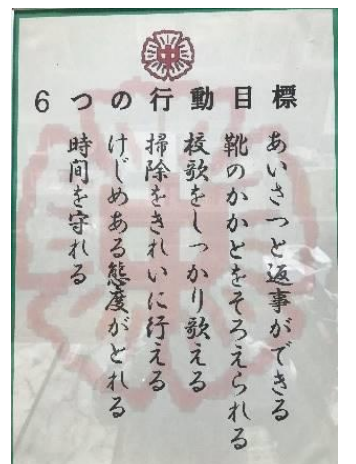
「運」を引き寄せ、男子8位・女子3位という立派な成績を掴み取りました。女子は11月6日の県の駅伝大会への出場も決定しました。今回の駅伝は、直接襷を繋ぐ駅伝ではありませんでした。しかしだからこそ、生徒・教職員・保護者・地域の皆様を含む大原全員の見えない心の襷が、しっかりと繋がり、メンバー全員がベストタイムという「メガ進化」を魅せてくれました。大原全員の力です。

今号では、大原がさらに「メガ進化」するために、必要な大事な話をします。それは、『陰徳を積む』ということです。この言葉(精神)は、銀行業界の元祖、安田善次郎さんが、幼いころから父親に叩き込まれた言葉

(精神)です。「人に褒められようとして善行を施すのではなく、誰にも知られずとも人のためになることを黙々と行おう」ということです。履物を揃えたり、落ちていたゴミを拾ったり、朝近所を掃除したり、そんな行いが自然とできるようになると、必ず「運」が向いてきます。最後の勝負の分かれ目である「運」は掴むものなのです。『陰徳を積む』ことにより心が磨かれ、人間力が上がります。すると不思議と回りから認められ、皆に心から応援される人間に進化します。今回、駅伝チームがほんの数秒の差で、入賞や県大会を掴み取れたのは、もしかしたら、体育の先生方が、生徒たちが登校するはるか前から、スポーツ広場を整備し、ラインを整えてくれたおかげかもしれません。先生方にとっては、当たり前なことなのかもしれませんが、当たり前のことを、当たり前に行っていたことが、最後に「運」を引き寄せてくれたに違いありません。では、大原にとっての当たり前、「陰徳」とは何か?それは、右の「6つの行動目標」にあると思います。もう一度原点に戻って、生徒・教職員・保護者・地域の皆様、皆で、行動目標の徹底を図って参りましょう。それが、大原のさらなる「メガ進化」への第一歩となるはずです。

10月29日には、2年ぶりに全校生徒が一堂に会し、学年ごとに完全入れ替え制とはなりますが、保護者の皆様をお迎えしての合唱コンクールもあります。保護者・地域の皆様、今後の大原の活躍に御注目ください。

希望の登校 笑顔の活動 満足の下校



6つの行動目標

あいさつと返事ができる
靴のかかとをそろえられる
校歌をしっかりと歌える
掃除をきれいにできる
けじめある態度がとれる
時間を守る